

タイトル

『汐製菓会社の新作 80 ウエハースト』

キャスト

- ・ 汐（30代）…汐製菓会社社長。自由で奇抜な発想が得意で、いつも周囲を驚かせている。
- ・ 塩田（30代）…汐の秘書。お菓子好きだが、真面目な性格で毎度汐の新しい発想に振り回されている。

シナリオ

シーン1：汐のオフィス

(汐がウキウキした表情でオフィスに入る。塩田はすでにデスクに座り、書類を整理している)

汐「塩田さん！次の新商品、決まったよ！」

塩田「また新しい商品ですか？あ、もしかして、今回こそは普通の……」

汐「もちろん、普通じゃないさ！これが新しい挑戦、『いぶりがっこ味ウエハース』だ！」

塩田「(驚いて)え？……いぶりがっこ……味？ウエハースに？まさか、燻製味のスナックを……ウエハースで……？」

汐「そうとも！燻製の香りとウエハースの甘さが絶妙に混じり合って、食べた瞬間に驚きの味覚が広がるんだ！」

塩田「(困惑しながら)え、えーと……いや、ちよつと待ってくださいね。ウエハースといえば……甘くて軽くてサクサクしたお菓子の代名

詞なのに、そこに燻製の香りを入れちゃったんですか？」

汐「そう！塩田さん、人生は驚きと発見の連続だろう？この“いぶりがっこ味”こそが、その驚きをお菓子に詰め込んだ逸品なんだ！」

塩田「（小声で）毎回驚かされるのは私たちが社員だけじゃないかしら……」

汐「さあ、さっそく開発チームに試作品を作らせるから、一緒に試食してみよう！」

塩田「（ため息）まあ、ここまで来たらもう止められませんね……」

シーン②：開発室

（開発室に到着し、いぶりがっこ味ウエハースの試作品がテーブルに並んでいる。塩田は興味

津々だが、少し警戒しながらウエハースに手を
伸ばす（

汐「さあさあ、塩田さん、一緒に食べてみよ
う！ほら、一口！」

塩田「……………ええっと、じゃあ、まずは……………いただ
きます。（パリッと音を立てて一口食べる）
……………う、うわあ……………」

汐「どうだ？このスモーキーな香り！口の中
に広がる“いぶりがっこ”の風味が、ウエハース
の甘さと絶妙なハーモニーを奏でてるだろ
う？？」

塩田「（驚きつつ）え、えーと……………確かに、ウエ
ハースの甘さが来たかと思えば、いぶりがっこ
の燻製の香りがブワツと……………う、うーん、なん
と言いますか、これは……………」

汐「うんうん、そう、まさに予想を裏切る
味！これが人々に衝撃を与え、新しい食の世
界を切り開くんだ！」

塩田「（心の声）衝撃はあるけど、果たしてそ
れが良い意味でなのか……」

汐「大丈夫大丈夫！塩田さん、この味の冒
険に乗り出そう！」

シーン③：試食会　ー社内編

（開発チームや他部署のスタッフが試食会に
集まる。汐と塩田がスタッフがいぶりがっこウエ
ハースを配り、反応を見守る）

汐「さあ、皆さんどうぞ！この“いぶりがっこ”
味ウエハース”を召し上げれ！」

スタッフA「（半信半疑で口に運ぶ）……あ
れ、これ……燻製の香り？……でも、甘い？」

スタッフB「まるで燻製チーズみたいだ……」
「これは、ウエハースなのか、何なのか……」

スタッフC「ウエハースと言われて食べたなら、想像と違いすぎて……でも、意外とクセになるかも？」

塩田「（小声で）社長、なんだか皆さんのリアクションがバラバラですね。ちょっと不安ですけど……」

汐「そう、それでいいんだよ！賛否両論こそが話題を呼ぶってものだ！」

塩田「（半ば呆れたように）それが本当に成功につながるんでしょうか……」

シーン4：一般試食会

（一般のお客様を集めた試食会会場。汐と塩田は控え室でモニターを見ながら、会場の反応を観察している）

試食者「なんだろう、これ。甘いのにスモークー？不思議な味がする……」

試食者「日本のお菓子って面白いね。ウエハースに燻製の香りって、日本っぽいついていうか……うーん、ちょっと複雑かな」

試食者「私は意外と好き！クセになる！けど、友達にすすめるかっていうと、うーん……」

塩田「（ため息をつきながら）うーん、意見が本当に真っ二つですね。社長、ここまで話題になるのは良いことなんでしょうか？」

汐「もちろん！こうして皆が話題にしてくれる。それこそがこの商品の最大の武器だ

よー！」

塩田「（不安げに）……確かに、話題にはなっているみたいですが……」

シーン5：SNS反響チェック

（試食会后、SNS上で「#いぶりがっこウエハース」がトレンド入りし、いろんな意見が飛び交っているのをチェックする汐と塩田）

投稿1「#いぶりがっこウエハース なんだこれ？ウエハースって言われて食べたら驚いたけど、意外とクセになる！」

投稿2「いぶりがっここの燻製の香りと甘さがミックスされてて、脳が混乱する。何かクセになるけど、もう一度買うかは謎」

投稿3「うーん、燻製とお菓子って合うのか？でも、一度は試してほしいかも」

塩田「（スマホを見ながら）社長……“クセになる”という意見はあるものの、やっぱり不思議な味だって言われてますけど……」

汐「いいじゃないか、不思議だから話題になるんだ！ほら、この調子でさらに広がっていくぞ！」

塩田「（心の声）私は不安が広がっていきそうなんですけど……」

シーンの：海外プロモーション会議

（汐と塩田が、海外プロモーション展開のために会議をしている）

汐「さあ、次は海外進出だ！いぶりがっこウエハースで、世界中に日本の“未知の味”を届けようー！」

塩田「（戸惑いつつ）えっと……日本でも賛否
両論なのに、海外でも……大丈夫なんですよ
うか？」

汐「大丈夫だ！ 燻製好きの国も多いし、これ
で日本文化も紹介できる」

塩田「（考えながら）えっと、じゃあ英語のキャ
ッチコピーも必要ですよな？ 『未知の日本』と
かでしょうか？」

汐「それもいいけど、もっと大胆にしよう！
『サプライズ・フロム・ジャパン』なんてどう
だ？」

塩田「（半ばあきれつつ）それって、冒険し
きな気も……まあ、試してみましよう」

シーン①：プロモーション動画撮影

(英語のプロモーション動画撮影中。塩田が心配そうに見守る中、汐がカメラの前で意気揚々と話し出す)

汐「Hello, everyone! This is Japan, s new surprising flavor - 'Iburigakko Wafer.！」

塩田「(小声で)社長、本当にその名前で行くんですか？ちよつと説明が足りないかも……」

汐「大丈夫だ、塩田さん。短いほうがインパクトがある！皆の好奇心を引き出すんだ」

塩田「(小声で)なんだか色んな意味で心配です……」

エンディング

(いづりがっ「ウエハースはSNSやロロミで話題になり、国内外から反響が続々と届く。汐

はさらに新たな奇抜なアイデアを考え始める)

汐「よし、次の新商品は“わさびシヨコラウエハース”だ！甘さとピリリとした刺激で驚きをもう一度！」

塩田「(苦笑しながら)……社長、たまには普通のウエハースも考えてくださいよ……」

汐「普通じゃ退屈だろう？塩田さん、僕らは世界を驚かせるのが仕事なんだ！」

塩田「(心の声)ふふ、でも……やっぱり私はこの会社が好きかも……」

(音楽フェードアウト)

エント